

ポリテクカレッジ京都

近畿職業能力開発大学校附属京都職業能力開発短期大学校 植田浩一郎

1. はじめに

京都職業能力開発短期大学校（愛称：ポリテクカレッジ京都）は、昭和56年に京都府北部舞鶴市に設置され、来年は30周年を迎えますが、これまで「ものづくりを通じて地域に貢献する人材の養成」を理念として、近畿圏の産業界に創立以来2,725名の修了生を送り出しています。また、京都北部の中核的教育訓練施設として、この地域の産業界の従業員教育への支援等も積極的に行っています。

当校の専門課程（高卒者等対象の2年制課程）では、実践力を育成するため、生産現場で実際に使用される機器設備を用いた実験・実習を中心として、実験・実習と切り離すことなく理論を習得する「実学融合」のカリキュラムを編成しています。

さらに、社会人の基礎として5S（整理整頓、清潔、清掃、安全、しつけ）を重視し、危険予知訓練の導入などのほか、あいさつの励行等を教育訓練だけでなく学校生活全般に取り入れています。



当校の航空写真

2. 地域の概要

当校が設置されている舞鶴市は、京都府北部の中丹地域に所在しています。舞鶴市は東舞鶴・中舞鶴・西舞鶴の3つの地域に区分され、東舞鶴地区は明治時代より軍港の町として栄え、現在も海上自衛隊舞鶴総監部がおかれています。中舞鶴地区は、大小の造船所が集積し、現在の南極観測船「しらせ」は同地区のユニバーサル造船㈱で建造されました。当校が設置されている西舞鶴地区は古くから城下町として栄え、港には第8管区海上保安庁と国際埠頭がおかれています。このように、舞鶴市は、波静かで干満の差が少ない天然の良港として有名な舞鶴湾と造船の町です。舞鶴市の人口は年々減少し今年はずいに9万人を切ってしまいましたが、近畿圏北部の中核的な都市となっています。

当校の入校生の出身地域は、舞鶴市を中心として京都府北部、福井県嶺南地方、兵庫県北部のJR山陰本線およびJR小浜線沿線の北近畿地域が大半と



建造中の南極観測船「しらせ」

なっています。

京都北部の京丹後市は舞鶴市に次いで多くの学生が入校していますが、自動車部品製造を中心とした機械器具製造業が集積している地域となっており在職者の訓練も盛んな地域となっています。舞鶴市に隣接する宮津市は天橋立で知られる観光都市となっています。同じく隣接する綾部市は大きな工業団地がありますが、近年工場の海外移転等による工場閉鎖が見受けられるようになってきました。

福井県嶺南地方は、原子力発電所が数多く立地し、これらの発電所の維持・保全等に関係する企業が集積しています。

3. 当校の職業能力開発

3.1 学卒者の訓練

当校は、北近畿地域の産業界を支える実践技術者（ものづくりに関する専門的な技術と高度な技能を併せ持った課題解決型の人材で、研究者・開発者と技能者の間をつなぐ役割を担う人材）を養成するため、当校には専門課程（高卒2年訓練の課程）として生産技術科（定員20名）、電子情報技術科（定員30名）、住居環境科（定員30名）、染織技術科（定員20名、平成22年度をもって廃科）の4つの訓練科が設置されています。校訓の「よい人柄、よい身体、よい腕前」の下、前述の5Sを基本に教育訓練を行っています。

生産技術科では、地域の主要産業である機械器具製造業への就職を目指し、製造業でのコンピュータ利用技術の代表であるCAD/CAMの活用や、マシンニングセンタ等のコンピュータ制御の加工機での加工、三次元測定機による精密な計測等、高度な生産技術を習得するべく訓練に励んでいます。

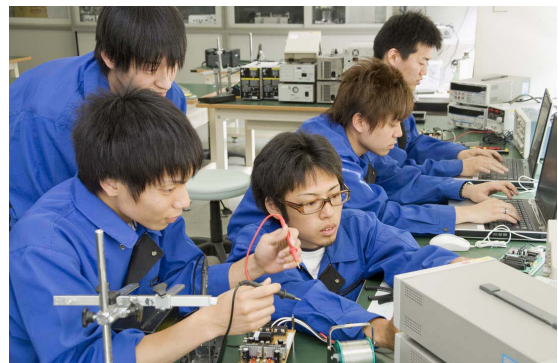
電子情報技術科では、ユビキタス社会で必須の電子回路の設計・製作技術、組込みマイコン技術、通信ネットワーク技術を融合したカリキュラムによりこれらの技術に精通した実践的な技術者を目指して日々励んでいます。

住居環境科では、住居を中心として建築業界で活躍する実践技術者を目指して、計画、設計、施工、

インテリア、設備等幅広く学びます。今年は、若者が技能を競いあう全国大会「第5回若年者ものづくり競技大会」に参加する学生もいました。

染織技術科は、「染め」と「織り」の双方の技術を修得した技術者を養成してきましたが、残念ながら今年度の2年生が最後の修了生となります。

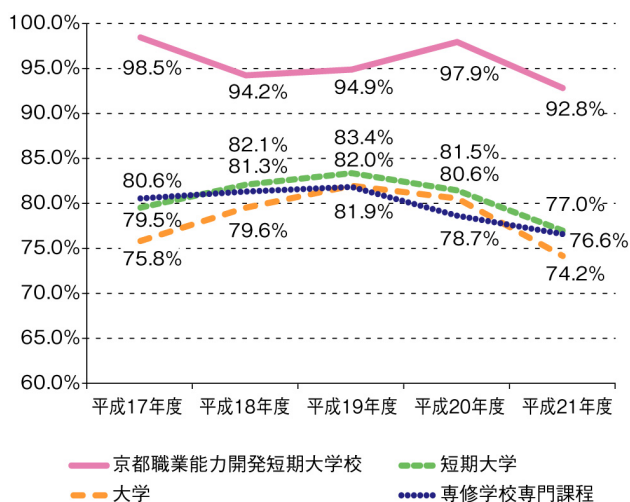
当校の学生への進路指導は、ビジネスマナー等を学ぶ「職業社会論」、職業生涯のキャリア形成等について学ぶ「キャリア形成論」、「インターンシップ」の授業科目のほか、「模擬面接」、「SPI対策講座」、「小論文対策」、「履歴書・エントリーシート作成指導」等の補講、ジョブカードを活用した学生自身による強み弱みの棚卸、個別のキャリア・コンサルティング（平成21年度は1年生と2年生とを合わせ3,000回を超えました。）、進路指導票（カルテ）による学生1人ひとりの正確な状況把握、各人ごとの状況に応じた進路指導等々、修了生全員の進路が決定することを目指して入学直後よりきめ細かく徹底した進路指導を行っています。



電子情報技術科の実習風景



第5回若年者ものづくり競技大会の状況（建築大工）



平成17～21年度進路決定状況推移⁽¹⁾
(修了者に対する就職者と進学者を合わせた割合)

平成21年度の修了生は、文部科学省系学校の75%前後の進路決定状況に比べ大幅に上回っていますが、大変厳しい雇用情勢の影響で92.8%の進路決定にとどまりました。

3.2 在職者への訓練

当校では、在職者を対象とした職業能力を開発するセミナーを実施するとともに、事業主等が行う従業員教育への支援を積極的に実施しています。

平成21年度は、当校が開催した職業能力を開発するセミナーの受講者が年間延べ247人、事業主等が行う従業員教育（指導員を派遣したもの）については述べ597人の従業員に対して支援しました。当校で実施したこれら在職者を対象のセミナーと事業主が行った従業員教育の内訳は、機械系43.7%、電子・情報系39.5%、その他16.8%となっており地域の産業構造の影響を強く受けています。

また、経済の低迷による雇用調整に対する支援措置として雇用調整助成金等の制度がありますが、この制度に関連した前記の教育訓練の内数として延べ486人の教育訓練を行っています。

引き続き、関係行政機関、舞鶴商工会議所、綾部商工会議所、丹後機械工業協同組合、財団法人京都産業21等の関係団体と連携をとりながら在職者への教育訓練の充実に努めていきます。

4. 地域への貢献

当校の教育訓練は、舞鶴市から「舞鶴市ものづくりスキルアップ応援事業」、「高等教育機関等合同PR事業」、「舞鶴市育英会入学支度金」の対象になるなど多くの支援と期待を受けています。京都府からは、京都府北部の産業振興の中核的存在として期待され、京都府知事のマニフェストの「北京都ものづくり拠点構想」に盛り込まれ、知事から直接に「地域に愛される施設」になることを要望されています。

このような地域の熱い期待を受けて、当校では地域への貢献に力を注いでいます。

当校の地域貢献は、前記の地域の在職者へのセミナーや事業主の行う従業員教育への協力だけでなく、事業主との共同研究、高校への講師派遣、地域の小・中学校の総合的学習への協力、小中学生を対象としたものづくり体験、施設解放、地域のイベントへの参加、行政機関の各種委員会等への協力等幅広く地域の産官学への貢献を行っています。以下に、これらの地域貢献のいくつかを紹介します。

4.1 企業との共同研究等

平成21年度は5件の共同研究を実施し、今年度は3件の共同研究を実施中です。平成20年度に行った「有害鳥獣検知・通報システム」は、総務省の「ふるさとケータイ事業」（地域を対象とするMVNOの活用促進事業）の実施主体に指定された京丹後市・宮津市・与謝野町・伊根町から委託された企業と行ったもので、有害鳥獣が罠にかかったことを検知し、罠の状況を携帯電話に自動的に通報するシステムです。このシステムの試作機作成と実証実験を担当しました。このシステムは共同研究の相手方企業が実用化し、京丹後市で現在100台稼働しています。

また、共同研究ではありませんが、平成21年度の2年生の総合制作実習で西舞鶴地区の「マナイ通り商店街（現状はシャッター通り状態となっている地元のアーケード街）の活性化」をテーマに取り上げ商店主や利用者、歩行人のアンケート結果等を取り

まとめ分析し、いくつかの活性化策を提案し地域の商店主からたいへん参考になると評価され、継続して取り組んでいます。



有害鳥獣検知・通報システム

4.2 高校への講師派遣

高校への講師派遣は、進路指導説明会への講師派遣と授業への講師派遣を行っています。

授業への講師派遣として、昨年度から、京都府立峰山高等学校と京都府立工業高等学校の総合的学習の時間に行っている経済産業省のモデル事業「地域産業の担い手育成プロジェクト」のクラフトマン講義へ講師を派遣し実験・実習を担当しています。



クラフトマン講義（峰山高等学校）

4.3 小・中学校の児童・生徒の施設訪問

当校では毎年、舞鶴市内の小・中学校3～4校が総合的な学習の時間を用いて来校し1～2時間程度

で施設見学や体験実習を行い、小学校の学級新聞あるいは中学校の学校新聞等で訪問した状況を発表しています。訪問した多くの生徒から、当校について「存在を知ってはいるが、行っていることについては知識がなく、高度な勉強内容と機械設備に驚きました」との感想文を受け取っています。

4.4 ポリテックビジョンin京丹後

近年の小・中学生は、ものづくりの現場を見たり、自らものづくりを経験することが少なくなっています。ものづくりの啓蒙と理解を促進するため、ものづくり企業が集積している当校から離れた（およそ50km）京丹後市で、峰山商業開発(株)および京丹後市教育委員会の協力を得て小・中学生を対象に「ポリテックビジョンin京丹後」（ものづくり体験教室）を毎年8月または9月に開催しています。今年度は、9月25日（土）、26日（日）の2日間開催し、延べ約300人（保護者を含めると約900人）の参加がありました。当日は、新聞社（3社）の取材もあり盛況な催し物となりました。



ポリテックビジョンin京丹後2010

4.5 こども発明クラブ

舞鶴みなとライオンズクラブは、毎年度「こども発明クラブ」を主催しています。年間を通じて8日間開催し、各日ごとに異なるテーマでアイデア工作や科学・電子工作など「ものづくりの場」を小学生



こども発明クラブ（平成21年度）

5年生・6年生（定員30名）を対象に提供しています。当校は、舞鶴工業高等専門学校等とともに、この「こども発明クラブ」に協力しています。今年度は、10月23日と11月20日を担当し、当校で開催します。

4.6 舞鶴市内のイベントへの参加

当校は、所在する舞鶴市内のイベントに積極的に参加し、コミュニティの一員として地域に貢献していくことを心がけています。イベントの運営に学生を参加させることで、人間的成長が見込まれることから、極力多くの学生を伴って参加しています。

田辺城まつり（5月）は、西舞鶴地区で行われ、細川幽斎が「関ヶ原の戦い」の2ヵ月前に、田辺城に籠城し西軍1万5千人と戦った史実を伝える祭りです。この祭りの武者行列に、学生が参加するとともに、校長も当校を代表して参加しています。

高等教育機関等合同PRフェア（9月）は、当校のほか、市内の高等学校（3校）、舞鶴工業高等専門学校、舞鶴医療センター附属看護学校、京都大学フィールド科学教育センター、海上保安学校が一堂に会して各学校の魅力や特徴等を市民に伝えるとともに、参加した学生間の交流を促進する舞鶴市が主催するイベントです。今年度は、約500名の参加者がありました。内容は、各校の「展示コーナー」、「進学相談コーナー」、「職業適性診断コーナー」、「ものづくり体験コーナー」、「看護体験コーナー」、各校校長による「おもしろ講座」、「ミニ英会話教室」、「吹奏楽」、「書道発表会」等です。当校では、このうち

「展示コーナー」、「進学相談コーナー」、「職業適性診断コーナー」、「ものづくり体験コーナー」、各校校長による「おもしろ講座」に学生を伴って参加しました。



高等教育機関等合同PRフェア（当校の展示ブース）

赤レンガフェスタ（11月）は、舞鶴市が東舞鶴地域の歴史的建造物である赤レンガ倉庫群を使って行うイベントです。当校は、例年学生を伴って参加し、「ものづくり体験教室」を開催しています。

成人式（1月）にも毎年多くの学生が出席しています。

5. 終わりに

当校は、所在地の舞鶴市のほか、京丹後市、綾部市、宮津市、与謝野町、伊根町からも地域に欠かせない施設として大きく期待されています。さらに、京都府からも北部地域の産業振興の重要な施設として位置づけられています。

当校ではこれらの期待にこたえ、地域の産業振興、地域の小学校・中学校・高等学校への協力と、地域住民との交流を通じて「地域に愛される施設づくり」を目指し、職員一同、職業能力開発の推進に今後も一層の努力をしていきます。

<参考>

(1)文部科学省 学校基本調査：（平成18年度～平成22年度）